

2006年3月13日

各 位

双日株式会社
双日食料株式会社双日、水産加工食品事業を買収
～ 食品川下分野をさらに強化 ～

双日株式会社のグループ会社である双日食料株式会社（本社：東京都港区赤坂、代表者：舩越義和）は、株式会社新日鉄都市開発（本社：東京都中央区日本橋、代表者：正賀晃）より水産加工食品事業を買収いたします。双日食料は、新日鉄都市開発の全額出資子会社で水産加工食品の製造・販売を行うエヌエス水産食品株式会社（本社：東京都中央区銀座、代表者：大宮勲）のすべての事業を2006年4月1日に譲り受け、新会社を発足いたします。

新会社は、双日食料水産株式会社（本社：東京都港区赤坂、代表者：奈良輪稔）で双日食料が全額出資し、エヌエス水産食品の従業員および大槌工場（岩手県大槌町）を継承いたします。双日食料水産は双日グループの持つコンビニエンスストアやベンダー、量販店向けなどの幅広い販売網を活用し、初年度17億円の売上を目指します。

エヌエス水産食品は、1989年に新日鉄都市開発の水産加工センターとして事業を開始して以来、大槌工場の地元である岩手産や北海道産などの鮭を使用した鮭フレーク製品やスモークサーモン、すし種各種製品、無添加調味酢にまでこだわった締めさば製品などの製造・販売を行っています。主力製品である鮭フレークは、独自の焼き製法により焼鮭の風味を引き出していることが特長です。

新日鉄都市開発は、エヌエス水産食品を双日グループへ譲渡することで、エヌエス水産食品の持つ営業力、原料調達能力などが強化され、より一層の発展が見込まれると判断し、双日食料へ事業譲渡することとなりました。

双日食料は、「多様化する消費者ニーズへの的確な対応」を基本方針に食品流通の各分野において顧客ニーズの掘り起こしによる積極的な商品開発、提案営業に取り組んでいます。また、従来の商社・問屋機能の拡充に加え、メーカー機能とそれに伴う商品開発力の強化を最優先課題と位置付けています。エヌエス水産食品が双日グループに加わることにより、営業・原料調達などでのシナジー効果が期待されるだけでなく、水産事業分野における原料購入から加工・販売までの一貫したサプライチェーンが構築されます。



【取り扱い水産加工食品の商品例】

【双日食料水産株式会社の概要】

本社 : 東京都港区赤坂 2-14-32
代表者 : 奈良輪稔
資本金 : 1000万円
出資者 : 双日食料株式会社 100%

【本件に関する問い合わせ】

双日株式会社 広報部 03-5520-3183
双日食料株式会社 経営企画室 050-5528-2742